

平成30年8月30日

平成30年度第3回未病産業研究会勉強会・交流会

神奈川県立産業技術総合研究所における 産学連携の各種スキームの紹介

地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所
企画部 連携広報課
上遠野 吉範

(地独)神奈川県立産業技術総合研究所(KISTEC)について

- * 平成29年4月1日に旧神奈川県産業技術センターと公益財団法人神奈川県科学技術アカデミー(KAST)が統合、地方独立行政法人化して発足
- * 4か所の拠点
 - ◎海老名本部 (海老名市下今泉705-1)、
 - 溝の口支所 (川崎市高津区坂戸3-2-1
かながわサイエンスパーク(KSP)内)
 - 殿町支所 (川崎市川崎区殿町3-25-13
川崎生命科学・環境研究センター(LiSE)内)
 - 横浜相談窓口 (横浜市中区尾上町5-80
神奈川中小企業センタービル 4階)

事業化促進研究事業について

- * 平成29年度から開始した事業で、大学のシーズ、中小企業のニーズとKISTECの設備機器・技術を融合し、中小企業の製品化を促進する事業
- * ロボット、IoT、エネルギー、先端素材、エレクトロニクス、ライフサイエンス(未病、先端医療)、輸送用機械器具の技術分野で実施
- * 概ね3年を目途に製品化を目指す
- * 企業とKISTECでそれぞれ費用負担し、大学との共同研究を推進(KISTEC負担額:300万円/件)
- * 平成29年度:8件、平成30年度:3件の新規採択

事業化促進研究のスキーム



KISTECの主な産学(公)連携活動

- * **かながわ産学公連携推進協議会(CUP-K)**

神奈川県内の理工系学部、公的支援機関、銀行等による産学公連携の促進

<http://www.kanagawa-sangakukou.org/>

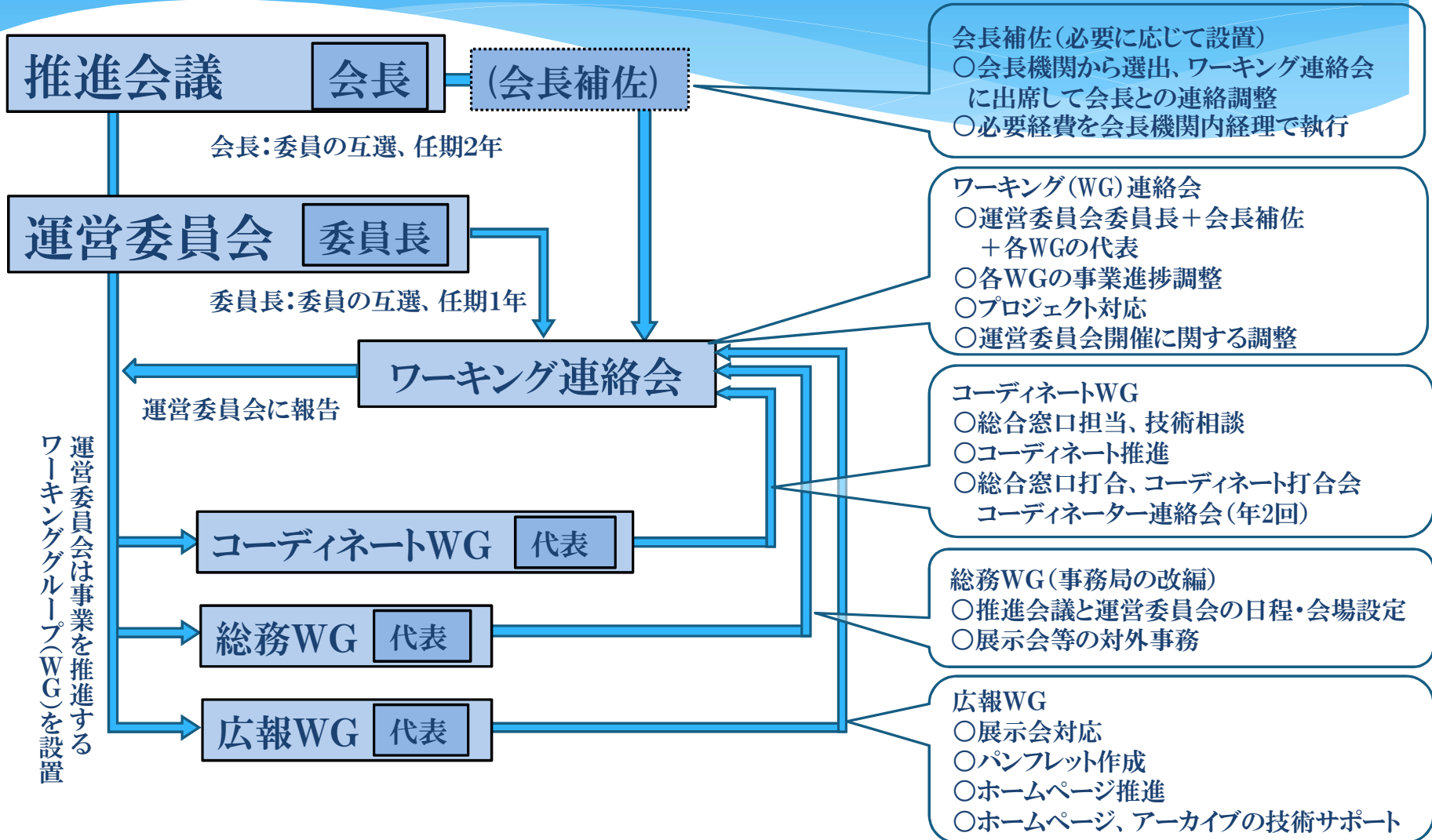
- * **NANOBICとの連携**

ナノ・マイクロ分野における産学公連携の促進

かながわ産学公連携推進協議会 (CUP-K)とは

- * Collaboration between Universities, Public Organizations and Private Enterprises in Kanagawaの略称
- * 神奈川県内に理工学部を有する15大学と、公的支援機関、銀行等が県内の中小企業等と大学との間をコーディネートする活動(平成21年に開始)
- * コーディネートに関する企業の費用負担は無
⇒共同研究等を実施する場合は規定の費用負担
- * 神奈川県内企業や中小企業以外も対応
⇒神奈川県を中心とした周辺域も対象とし、通常、支援機関の対応の範疇に無い大手企業等の相談にも対応

CUP-Kの運営体制



CUP-Kのコーディネートスキーム

神奈川地域の企業

自社だけでは解決できない課題を、大学に協力をお願いしたい。でも、大学の敷居が高くて・・・。



例えばこんな時、お気軽にご相談ください。

- ・現状の製品や技術等について、アドバイスが欲しい。
- ・最先端の試験をお願いしたい。
- ・大学と共同で新製品を開発したい。

お近くの産学連携支援機関の受付窓口にご相談ください。協議会のホームページから申し込むこともできます。

かながわ産学公連携推進協議会

受付窓口

ご相談内容について、産学連携支援機関のコーディネーターが事前調査に伺い、課題の整理等をお手伝いします。

総合窓口コーディネート

各大学の産学連携室に照会し、企業の要望を聞きながら、最適な研究者を選定します。

実施内容の協議

申請企業の担当者、大学の研究者とコーディネーター、産学連携支援機関のコーディネーターが参加して、研究・試験内容等を協議します。

大学との契約等

研究者が所属する大学の規定による手続きをしていただきます。

研究・試験の実施

研究・試験の進捗状況をフォローします。

次のステップへのアドバイス

コーディネーター

産学連携支援機関

(地独)神奈川県立産業技術総合研究所*
 (公助)神奈川産業振興センター
 (公助)横浜企業経営支援財団
 (公助)川崎市産業振興財団
 (公助)相模原市産業振興財団
 (株)ケイエスピー
 (株)横浜銀行
 神奈川県中小企業団体中央会

大学

青山学院大学

麻布大学

慶應義塾大学

KU 神奈川大学

神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

関東学院大学

聖マリアンナ医科大学

鶴見大学

東海大学

KOGEI
東京工科大学
TOYOKEI UNIVERSITY OF TECHNOLOGY

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

日本大学

明治大学
MEIJI UNIVERSITY

YNU 横浜国立大学
YOKOHAMA NATIONAL UNIVERSITY

公立大学法人 横浜国立大学

研究データベース

各大学の産学連携室



*平成29年4月1日より、神奈川県立産業技術センターと(公財)神奈川科学技術アカデミーは統合し、「地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所」として生まれ変わりました。

*コーディネートで知り得た情報については、守秘義務を厳守して取扱います。

CUP-Kへのコーディネート申込方法

* CUP-Kホームページ(HP)から申込

<http://www.kanagawa-sangakukou.org/>

* コーディネート申込機関への問合せ(HP参照)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| •(地独)神奈川県立産業技術総合研究所 | 企画情報部 連携部連携広報課 |
| •(公財)神奈川産業振興センター | 経営相談課 |
| •(公財)横浜企業経営支援財団 | 経営支援部産学連携課 |
| •(公財)川崎市産業振興財団 | 新産業振興課産学連携担当 |
| •(公財)相模原市産業振興財団 | |
| •(株)ケイエスピー | 企画事業部企画課 |
| •(株)横浜銀行 | 法人営業部情報ソリューション営業グループ |
| •神奈川県中小企業団体中央会 | |

CUP-Kの活動状況

* 平成29年度の活動結果

○相談件数 14件

- ・参画機関が個別に対応可能な相談案件は対象外
(例:KISTECの年間技術相談件数:約21,000件(H29年度))

○技術情報発信 3件

- ・コーディネートWGのコーディネーター(CD)が個別面談・要素技術の抽出を行い、各機関のCDに問合せた件数
- ・コーディネートWGのCDが直接マッチングを行うことが可能な場合は情報発信を行わない

○大学との面談 9件

- ・対応できる可能性のある大学等の研究者が見つかった場合に実施
- ・参画機関で対応ができない相談内容については実施しない

CUP-K活動の主な成果

* 映画フィルム保存用酢酸吸収・調湿剤の開発

○支援企業:株式会社足柄製作所(南足柄市中沼469)

<http://ashisei.com/index.html>

○技術課題:映画フィルムのビネガーシンドローム対策用材料の開発

○対応機関:関東学院大学、東京工芸大学、KISTEC(旧産業技術センター、旧KAST)

○支援内容:共同研究、依頼試験、技術相談



ビネガーシンドロームとは

- * 1950年代に使用された映画フィルムのベース素材(トリアセチルセルロース)が、湿気や熱によって化学変化(加水分解)して、酢酸を発生し、フィルムの分解が不可逆的に進行する現象
- * ビネガーシンドロームが発生したフィルムはワカメ状に変形
- * 発生した酢酸で連鎖反応的に分解が促進
- * 分解抑制のためには酢酸を吸収すると共に湿度を調整し低温での保管が必須

CUP-Kのその他の活動

～ 分析センター連絡会 ～

- * CUP-K参画機関で開放利用な分析機器・施設等を有する機関で連絡会を実施
- * 各機関の情報共有を行うことで、個別の機関で対応できない分析等について、対応可能な他機関を紹介
- * 参加機関の情報についてはHPで公開

NANOBIICとの連携

- * 川崎市およびNANOBIICと連携し、ナノの領域における成膜や微細加工等に関して、企業等の技術者教育のための講習や実習を実施
 - ・ナノファブスクエア講習・実習会(14回/年(H29年度))
- * 前任コーディネーターによるナノ・マイクロ領域における産学公連携の推進

NANOBIICとは

- * Global Nano Micro Technology Business Incubation Center
- * 川崎市が整備した、ナノ・マイクロ技術を基盤とし、基礎研究から実用化開発までの一貫した研究開発を進めるナノファブリケーション施設(かわさき新産業創造センター新館)
- * ナノ・マイクロ分野の技術の産学官共同研究施設
- * 4大学(慶應義塾大学、早稲田大学、東京工業大学、東京大学)ナノ・マイクロファブリケーションコンソーシアムおよびナノ・マイクロに関連する企業が研究で利用

その他の活動

- * A-STEPや戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)など、産学公の連携による研究開発補助金の申請や共同研究開発の実施(個別対応)